

「なぎなた教室」のご紹介

楽しく、正しいなぎなたで心と体もいきいきと！



なぎなたは、曲線のある刃を長い柄にとりつけ、太刀よりも応用自在に扱え、「弁慶に薙刀」ということわざにもあるように、かつては有力な武器でしたが、鉄砲伝来以降衰退し、江戸時代には武士の装飾的な武器として、また子女の護身用として用いられるようになりました。

終戦(1945年)後の武道禁止令により一時は禁止されていましたが、昭和30(1955)年に『全日本なぎなた連盟』が発足し、他人を思いやり、凜とした心と強い精神力を鍛え、平和な世界に貢献する武道として再出発しました。

競技スポーツとしてのなぎなたは、剣道に似た防具を着装し、相対して相手の打突部位を打ち合う「試合競技」と、2人1組で形と技の優劣を競う「演武競技」があり、毎年、全日本選手権大会や国民スポーツ大会など多くの大会が開催されています。

当館のなぎなた教室では、初心者から経験者まで、幅広い層の方が稽古に励んでおられます。

講座名	定員	対象	曜日	時間	開催予定日 (第Ⅱ期)			講師
					7月	8月	9月	
なぎなた教室	10名	小学生以上	火	10:00~11:30	2・9・23	13・27	3・10	松田 佐知子
	10名		金	18:30~20:00	5・12・19	9・30	6・13・27	

講師プロフィール

※7月9日は午前と午後でおこないません。



松田 佐知子 (まつだ さちこ)

(公財)全日本なぎなた連盟 教士 第1種公認審判員
(公財)日本スポーツ協会 なぎなた公認コーチ1

○ なぎなたと防具

